

ミヤマタニワタシ		<i>Vicia bifolia</i> Nakai	絶滅危惧Ⅱ類
		マメ科	
選定理由	岐阜県では極めて生育地が限られているうえ、個体数も少ない。		写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	茎は直立し、高さ30-80cm、葉は2出複葉。小葉は狭卵形～卵形で、先端は長く伸び尖る。花は青紫色。上部の葉腋から出る総状花序に5-10花をつける。苞は花後も宿存する。豆果は長楕円形で無毛。		
生態的特徴	マメ科の多年草。花期は6-8月。山地の林下に生える。		
分布状況	本州の栃木県から愛知県に分布し、朝鮮に分布する。岐阜県では、県南東部にごく稀に見られる。		
減少要因	林道わきなどに生育するため、過度の草刈りなどによる減少や、道路拡張などによる環境の改変。		
保全対策	道路拡張などによる環境の改変で、その個体群が絶滅するおそれがあり、工事の際には特に慎重を期する。		
特記事項			
参考文献	原色日本植物図鑑・草本編Ⅱ 保育社 1961 日本の野生植物草本Ⅱ 離弁花類 平凡社 1982		

文責:福岡義洋